

提供日: 2008年3月11日  
 部局名: 琵琶湖環境部  
 所属名: 最終処分場特別対策室  
 担当者名: 上田、花本  
 内線: 3671  
 電話: 077-528-3671  
 メール:  
[df0001@pref.shiga.lg.jp](mailto:df0001@pref.shiga.lg.jp)

## アール・ディエンジニアリング最終処分場における掘削調査の終了について(第7号)

栗東市小野の(株)アール・ディエンジニアリング最終処分場の掘削調査の状況についてお知らせします。(再開後第7号)

なお、本日をもちまして、重機等による掘削は終了しました。(埋戻作業、跡片付け等は残っております。)

### 1.調査日時

平成20年3月11日(火曜日)  
 午前9時から午後5時

### 2.掘削地点および掘削量

本日の掘削状況	累計
IIブロック(ケーシング に5周辺試掘):掘削 約40立方メートル IIIブロック 東側:掘削 約24立方メートル IVブロック(E-2横):掘削 約20立方メートル 計 84立方メートル	重機による掘削 約 13,750 立方メートル

[PDF](#) [掘削計画平面図\(PDF:524KB\)](#)

### 3.ドラム缶等の確認状況

No.	廃棄物	状況
1	ドラム缶	計3個 IV-4(仮置) 1個(内容物がゴミのもの) I-1(仮置) 2個(内容物が空)
	白い粉体	IIIブロックの東側

油臭のする廃棄物	<p>2月20日に発見された白い粉と同様の粉体を、0.1立法メートル程度確認しました。 同所より建材の破片が確認されたことから、この白い粉体は建材の研磨くずだと考えられます。</p> <p>IIブロック ケーシング に5周辺試掘 油状の廃棄物が2立法メートル程度確認されましたので、埋め戻さずコンクリートの上でシートに 覆い仮置きしています。</p>
----------	---

ドラム缶の累計	<p>全体で140個 (うち内容物 油状86個、鉋さい11個、燃えがら3個、樹脂2個、空24個、コンクリート6個、その他8個)</p> <p>平成17年の処分場西市道側の掘削調査で発見されたドラム缶と合計すると 245個となります。</p>
---------	--

3月12日の埋め戻しの際に2個のドラム缶が発見されましたので、下記のとおり修正します。

ドラム缶の累計	<p>全体で<b>142個</b> (うち内容物 油状86個、鉋さい11個、燃えがら3個、樹脂2個、<b>空25個</b>、コンクリート6個、<b>その他9個</b>)</p> <p>Iブロック 47個(I-1時11分個、I-2時36分個) IVブロック 95個(IV-1時15分個、IV-2時17分個、IV-3時1分個、IV-4時62分個)</p> <p>平成17年の処分場西市道側の掘削調査で発見されたドラム缶と合計すると <b>247個</b>となります。</p>
---------	---

## 4.対応

- ドラム缶は、雨水にふれないよう倉庫に仮置きしています。
- 白い粉体は、性状を確認するため分析するとともに、飛散しないようシートで覆っています。

関連リンク

[RD最終処分場問題対策委員会](#)

[RD最終処分場問題行政対応検証委員会](#)

[最終処分場特別対策室](#)

Copyright© Shiga Prefecture. All rights reserved.